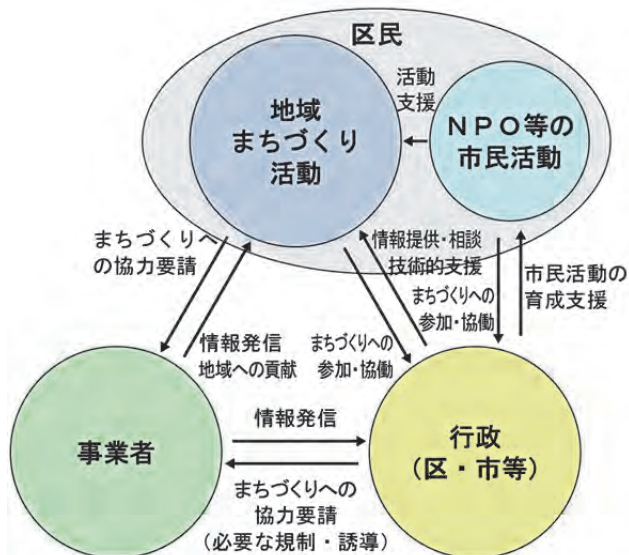


V. 南区プランの実現に向けて

南区プラン実現に向けた区民・事業者・行政の取組

今後の南区のまちづくりは、「区民・事業者・行政共有のまちづくりの基本方針」である南区プランに基づき推進していきます。また、まちづくりの進展や社会状況の変化に伴い、南区プランの見直しや充実を図っていきます。まちづくりの推進にあたっては、区民(個人、自治会・町内会、ボランティア団体、NPO*等)、事業者、行政など様々なまちづくりの担い手が互いにその役割を認め、それぞれの強み生かしながら、協働*のまちづくりを進めます。



(1) 区民主体のまちづくりの推進

地域ごとに特性が異なり、様々な形で相互に影響しあっているまちづくりの課題に対しては、包括的、長期的な視野に立ち解決にあたっていくことが求められます。また、それぞれの地域の個性ある魅力を生かすことも必要です。こうしたまちづくりの課題は、行政のみで解決できるものではなく、地域住民の主体的な取組も必要です。

区民は地域の課題への認識を深め、積極的にまちづくりへ参加し、「自分たちのまちをどうするか」を考えていきます。また、特に生活に密着した課題については、その地域の特性に応じ、行政などとも連携を図りながら、地域の発意による自立的なまちづくり活動を展開していきます。

(2) 事業者のまちづくりへの参加

事業者は、企業の社会的責任に配慮しながら、地域と共に発展する事業を実施していきます。区内の企業や商店・工場は、区民や行政と連携するまちづくりの重要な主体として、資金、技術、人材及び情報などを生かした、まちづくりへの積極的な貢献を進めます。また、都市基盤や都市施設、住宅など、民間の様々な施設の維持管理や更新等に関わる事業者についても、地域住民や行政への積極的な情報公開、地域住民と協働*、合意形成に配慮し、地域の住環境と調和したまちづくりを進めます。

(3) まちづくりにおける区役所の役割の強化

行政は、南区プランや関連する計画等を踏まえ、都市計画等で定められた土地利用や建築のルール等による規制や誘導、区民や事業者のまちづくりの支援に加えて、関係組織の総合調整、財政状況を考慮した、公共施設の維持管理、効率的な運営や民間事業と連携した公共事業の実施により、まちづくりを推進していきます。

特に、地域の特性を生かし、区民自らが主体性を持って包括的に地域課題を解決しようとする、区民主体のまちづくりに対しては、その取組への支援を行う行政の役割は、今後ますます大きくなると予想されます。

これらを踏まえ区役所の役割や機能の充実を次の観点から進めます。

●地域情報の把握

地域の強みを生かし、課題に応じたオーダーメイドのまちづくりを進めていくため、行政が地域の課題や地域住民の意向、さらに地域活動の状況をきめ細かに把握し、その情報を区民と共有し、いつでも活用できる体制づくりを進めます。

●地域の情報や行政情報の積極的な公開と、まちづくりに関する相談機能の充実

区民、事業者、行政の協働*によるまちづくりが重要になってくる中、生活者としての区民の発想や、区民やNPO*(特定非営利活動法人)自身によるまちづくりへの取組も期待されています。その際、まちづくり特有の専門的知識や技術も必要となってきます。

そのため、これからの区役所は、区民、事業者との協働*を進めるのみならず、各主体がそれぞれの特徴を生かしながら独自のまちづくりを進めていけるように、まちづくりに関する地域及び行政情報の提供、相談、支援機能を充実していきます。

区民やNPO*自身が行うまちづくりに関する情報提供や相談機能についても、その充実のため支援を行います。

●区役所の総合調整機能の充実

横浜市及び関係行政機関が区内でまちづくり事業を進める際には、区役所は、行政機関のコーディネーター(調整)役として、区民、事業者の意向や地域の実情などをふまえ、事業の調整を行います。

【コラム】区民主体のまちづくりの推進

地域ごとの特性や魅力を生かすとともに、生活に密着した課題に対応していく上では、地域住民やNPO*等の様々な担い手の参画に応じて、まちづくりの企画、計画策定、取組の推進、取組の担い手育成などを進めていくことが求められます。

南区は、庶民的で人情味あるまちと言われ、顔の見える関係の中で地域での支えあい、助け合いが自然に行われるという良さを持っており、自治会・町内会活動、ボランティア活動、NPO*等による活動が既に盛んに行われています。

このように、地域それぞれの状況や住民等の地域の発意、担い手の取組に合わせ、横浜市地域まちづくり推進条例*に基づく制度や事業をはじめ、市や区の様々な支援も活用しながら、区民主体のまちづくりを柔軟に推進していきます。

＜三春台防災まちづくり＞



住民と地権者との交渉により実現した、生活や避難に重要なルートである私道の整備

＜南永田団地高齢者見守り支援＞



団地内の空き店舗を活用した交流イベント「つながり祭」

＜六ツ川野外サロン＞



自治会で栽培した野菜を販売する「朝市サロン」

＜公園愛護会*支援＞



保育園、放課後キッズとの協働*による花植え